

## 成果指標設定調書

## 【成果指標の設定】

成果指標設定年度 27 年度

市町村名	志木市		
提案事業名	みんなで進める 健康寿命日本一のまちづくり事業		
事業期間	27 年度	～	27 年度
事業の必要性、目的	<p>本市は、健康づくりの具体的な計画である「いろは健康21プラン（第3期）」において、「みんなで進める 健康寿命日本一のまちづくり」をめざし、現在様々な施策に取り組んでいるところです。しかし、市民の健康づくりは、行政の取り組みだけでは進めることはできません。自分の健康は、自分で守るという意識が重要であり、日常生活において、何がいけないことで何をすべきかを理解し、日々の生活で意識し、行動に移して行くことが大切です。本市では、市民が積極的に、自然と健康づくりにつながる行動ができるよう、さまざまな取組をすすめていく必要性があると考え、“市民力”を活かした健康づくりをとおして、市は“市民力”を支援し、市民の健康づくりを推進します。</p> <p>推進にあたっては、健康づくり支援課、健康増進センターを中心とし、高齢者部門、生涯学習部門、さらには観光部門などとの横断的な体制で臨みます。さらには、地域が一体となった健康づくりのネットワークを構築し、市民の健康づくりを支援していきます。</p>		
成果指標	（成果を検証する指標）		
	埼玉県内健康寿命 1 位		
	（成果検証の具体的な方法）		
	埼玉県衛生研究所資料から検証する。		
	（上記の指標を設定した理由）		
	県では、「埼玉県5か年計画」の中で、生涯を通じた健康の確保の施策指標として、健康寿命の延伸を掲げており、2015年度から「健康長寿埼玉プロジェクト」を県全体で展開していく中、本市でも「健康寿命日本一」をめざし、まずは県内1位を指標として設定します。		
	（成果の目標値）		
現状値 （26年3月現在）	平成24年男性4位、女性3位	目標値 （29年6月時点）	男性、女性ともに1位
（施設建設等の場合）			
年間利用者数（目標）（人）		稼働率（目標）（%）	
住民への公表方法 及び特記事項	ホームページ及び広報紙により周知します。		

## 【成果指標と構成事業の関連性】

平成27年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
① ノルディックウォーキング事業	間接補 いろは健康21プランの推進事業の一つとして、ノルディックウォーキング全国大会を開催する。全国大会とすることで、市民だけでなく市外からの参加者が増えることが想定され、健康増進を図る以外に、賑わいの創出にもつながると考える。また、体験会を実施することにより、参加者を増やすだけでなく、指導者も育成することで、“市民力”を活かした健康づくりを可能とする。	8,200
② いろは親水公園健康遊具設置及び休憩施設整備事業	ハード ノルディックウォーキング全国大会をきっかけに、いろは親水公園を周知するとともに、いろは親水公園への案内看板を新たに設置し、さらなる健康増進の場として利用してもらうため、健康遊具を設置する。また、市内の公園を巡りながら、ウォーキングできるようなコース作りを進めていくため、市内の公園の休憩施設（ベンチ等）を計画的に整備する。	6,342
③ チャレンジスポーツミニ体験事業	ソフト ノルディックウォーキング全国大会に合わせ、大会とは別に参加者にノルディックウォーキングの体験してもらうことで、スポーツに親しむ場を提供するとともに、健康意識の向上を図る。	800
④ 健康マップ作成事業	ハード ノルディックウォーキング全国大会の開催やいろは親水公園に健康遊具を設置するなど、市民の健康づくりを後押しする環境整備をしていくことから、これを機に、ノルディックウォーキングを周知するとともに、全国大会で使用したノルディックコース（2* <sub>a</sub> 、7* <sub>a</sub> 、10* <sub>a</sub> 、20* <sub>a</sub> ）と健康遊具などを盛り込みながら、新しい健康マップを作成する。	319
⑤ いろは親水公園内賑わい創出事業	ハード 大会当日は、市内外から人が集まることが想定され、志木市のPRを行うよい機会と捉え、賑わいを創出するとともに、いろは親水公園を市民の健康増進やコミュニティの場としてさらなる周知をする。	1,135
⑥ 食育推進事業	ソフト 人が多く集まるノルディックウォーキング全国大会や健康まつりを利用し、いろは健康21プランの推進事業として、食育推進に関する啓発を実施するとともに、市民の健康意識の向上、健康寿命の延伸等の目的を達成する。	123
⑦ 健康まつり事業	ソフト 毎年1回、「大人も子どもも楽しく健康づくり」をテーマに、市民一人ひとりが健康に対する意識を高め、健康増進のための生活習慣を身につけてもらうことを目的として開催する。【補助対象外】	500

⑧ 朝霞地区4市特定 検診等受診率向上 キャンペーン	ソフト	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）などの生活習慣病に着目した 特定健診の受診率向上に向けて、埼玉県のけんこう大使に任命されたゆるキャラが集合し、健康づくりや健診の必要性をPRする。【補助対象外】	1,800
⑨ 体力測定体験会	ソフト	地域での介護予防を支援し、広げていくための事業として一般高齢者にセミナー及び体力測定を実施する。 また、高齢者の多くが参加するイベント会場で実施することで、自らの体力を知り、維持や改善のための介護予防に取り組む動機づけを行うとともに、参加者同士の交流を図り、介護予防に資するボランティアの育成及び支援を行う。【補助対象外】	800
<b>合計</b>			<b>20,019</b>

## 【成果指標の達成見込み】

目標達成のための 具体的な方策	ノルディックウォーキング全国大会を機に、様々な事業を実施し、市民の健康意識向上をめざします。目標達成に向け、健康づくり支援課、健康増進センターを中心とし、高齢者関連、学校関連、生涯学習関連などの横断的な体制で臨み、地域が一体となった健康づくりのネットワークを構築し、市民の健康づくりを支援していきます。
成果指標の達成見込み	すぐには、成果指標に表れないと思われませんが、県の水辺再生事業で整備した「いろは親水公園」を周知するとともに、自然に親しみながらウォーキングができるなど、さらなる健康増進の場として利用してもらい、積極的なイベント集客を実施することで、目標達成にむけて少しでも近づけることは可能であると考えます。

（記入上の注意）

### 【成果指標の設定】

- ・住民への公表方法は具体的に記述すること

### 【成果指標と構成事業の関連性】

- ・提案事業を構成する各事業（構成事業）について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業（ハード事業）。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業（ソフト事業）。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業  
に対して市町村が補助金を交付するもの（間接補助事業）。

- ・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、事業費の下に（ ）書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。